

平成 24 年度病害虫発生予察注意報（第 2 号）

和歌山県農作物病害虫防除所

TEL 0736-64-2300

1. 病害虫名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ越冬成虫）
2. 対象作物：ウメ、モモ、スモモ、カキ、カンキツ
3. 発生地域：県下全域
4. 発生量：多
5. 加害期間：5月中旬～
6. 注意報発令の根拠：
  - (1) 落葉中のチャバネアオカメムシ越冬成虫は、県南部 18 地点での捕獲地点数、捕獲頭数（本年 7 カ所、22 頭、極端に越冬量が多かった平成 8 年を除く過去 19 カ年は平均 3.4 カ所、6.2 頭、昨年 0.0 カ所、0.0 頭）、県北部 47 地点での捕獲地点数、捕獲頭数（本年 17 カ所、45 頭、過去 9 カ年の平均 5.3 カ所、7.6 頭、昨年 0.0 カ所、0.0 頭）ともに多かった。県平均では 1 地点落葉 50 % 当たり 1.03 頭で、平年（0.37 頭）より多い（表 1）。
  - (2) ツヤアオカメムシは、紀中、紀南地域で越冬期中晩柑園で多く認められたことから、越冬密度が高いと推定される。
  - (3) 昨年のみなべ町東本庄の予察灯における果樹カメムシ類の新成虫の誘殺数は、チャバネアオカメムシが 9 月 2 半旬に 2,140 頭、3 半旬に 2,668 頭、4 半旬に 1,324 頭と極めて多かった。ツヤアオカメムシが 9 月 2 半旬に 218 頭、3 半旬に 293 頭、4 半旬に 256 頭、6 半旬に 332 頭と多かった（表 2）。

表 1. チャバネアオカメムシの越冬密度(県平均)

年次	2012	2011	2010	2009	2008	2007	2006	2005	2004	2003	2002	平年
調査力所数	65	64	64	63	63	63	63	60	60	60	60	—
捕獲頭数	67	1	22	9	7	8	1	44	7	117	50	22.3
越冬密度	1.03	0.02	0.34	0.14	0.11	0.13	0.02	0.73	0.12	1.95	0.14	0.37

注)越冬密度:頭数/落葉50%、平年:過去10年間の平均値

表2 みなべ町東本庄の予察灯における果樹カメムシ類の誘殺数(2011年)

月 半旬	9月						
		1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
チャバネアオ カメムシ	2011	329	2140	2668	1324	43	399
	平均	72.0	54.2	53.2	44.6	27.6	4.8
ツヤアオ カメムシ	2011	82	218	293	256	21	332
	平均	11.0	7.0	15.2	16.4	21.2	4.0

注) 平均: 過去5年間の平均誘殺数

#### 7. 防除上の注意事項

- (1) 果樹カメムシ類の飛来量は園地間差が大きいので、園内での発生及び被害状況を観察し、防除は発生に応じて早めに行う。
- (2) ウメの被害には品種間差が大きく、小梅類等の収穫の早い品種で集中して加害される傾向があるので、これらの品種では特に注意が必要である。カンキツでは蕾、花を加害するので、被害状況を観察して防除する。  
カキやスモモ、モモでは山林に隣接する園でカメムシの飛来時期が早いので、園内での発生状況を観察して早めに防除する。
- (3) 農林水産総務課研究推進室ホームページの果樹カメムシ情報や各地域でのJA等の調査情報を参考にし、対応する。
- (4) 農薬については最新の登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm000.html> 農林水産消費安全技術センターHP 農薬登録情報検索システム) を参照し、適正に使用する。